

株式会社リパックは、SDGs(持続可能な開発目的)達成に貢献します。

持続可能な開発目標 (SDGs : Sustainable Development Goals) とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として、2015年9月の国連サミットで加盟国の全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル (普遍的) なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。



株式会社リパックは、古紙をリサイクル原料として、再利用することで環境リサイクルに貢献いたします。

使用済み紙媒体(古紙)や使用済み紙コップを廃棄・焼却するのではなく、リサイクル原料として回収し、溶解処理によって再生紙として再利用します。

紙媒体(古紙)は溶解処理によってのみ、再生紙として再利用することが可能となります。

当社は独自のリサイクルシステムを構築することで、次世代への環境負荷を低減させることに努めています。

「脱プラスチック」及び「捨てない、埋めない、無駄をなくす」を目指し、リサイクルシステムを構築し、未来に環境負荷を残さない、資源循環型社会を実現するために、国連が提唱する持続可能な社会に貢献していきます。

株式会社リパックの事業活動とSDGsの具体的な取組について

<セキュリティ&エコロジー>

ハイセキュリティな機密文書溶解処理とリサイクル原料として再利用



再資源化の推進

お客様よりお預かりした機密文書に関しては、機密情報の抹消処理完了後、可能な限り再資源化に向けた利用の推進に努めます。

溶解処理された機密文書は、古紙パルプ原料となり再利用し再生紙トイレットペーパーに生まれ変わります。

<紙コップリサイクル>

使用済み紙コップをリサイクル原料として再利用



環境リサイクルのパイオニアとして、紙コップのリサイクルシステムを構築・展開しています。

紙コップリサイクルは、使用済み紙コップをリサイクル原料として再利用いたします。また、プラスチックコップを紙コップに置き換える事により、「脱プラスチック」及び「捨てない、埋めない、無駄をなくす」を目指す、リサイクルシステムを構築し、未来に環境負荷を残さない、資源循環型社会に貢献し続けます。

<機密文書処理専用の自社溶解施設>

お客様のパートナーとして、ハイセキュリティ&エコロジーを実現するために



セキュリティ及びリサイクルに配慮した機密情報抹消事業を持続提供していく為に、ISO 27001 (ISMS) 認証取得し、ISMS パートナーズ企業との協力と、一般社団法人機密情報抹消事業者協会 (KJMK) に加盟し、持続可能でより良い社会になるよう貢献していきます。